

守谷稲門会報

発行
守谷稲門会
発行人
逆井 誠
編集人
村田 隆
発行10月9日

会員募集

守谷市在住早稲田大学卒業生の方へ
守谷稲門会は親睦、地域ボランティア
などに活動しています。
連絡先 090-53995-12567 村田

第8回もりや寺子屋中止、そして 寺子屋の原点

松川 正巳
(S52教卒)

昨年同様7月26日(火)、27日(水)、28日(木)の3日間の予定で第8回もりや寺子屋を実施する予定でした。ところが21日(木)参加予定児童の家族にコロナウイルス感染者が出て濃厚接触者に該当するということで参加できなくなつたという電話連絡が入りました。守谷市の感染拡大状況から苦渋の決断でしたが中止を決定しました。準備を万全にして、ざあ、今年もがんばるぞ！と意気込んでいましたので悔しくて少々落ち込みました。思い返せば世の中で経済格差、教育格差が取り沙汰されていた10年前、故渡邊雄一先生と宮本さんから稲門会で守谷市の子

どもたちの健全育成の一環として学習支援ができないだろうかという相談があり、渡邊先生宅に何回か伺って計画を練ったことが鮮明に蘇ってきます。そこでもりや寺子屋のキャッチフレーズ「サンマ学び、遊びの時間・空間・仲間」を体験し、強く、たくましくなろう！が生まれました。

第7回の寺子屋まで何とか続けて実施できているのも渡邊先生のご指導、そして稲門会の会員の皆様のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。コロナ禍にあつて教育界では子どもたちの心身の成長に何らかの影響が出てくるのではないかと危惧されています。コロナ禍の守谷市の子どもの健全育成のためにど

んな支援が必要なのか原点に立ち戻つて考え、カリキュラムを見直しながら来年度以降も寺子屋を続けて実施できるように微力ながら努力していきたいと思っています。



もりや寺子屋 (秋の天体観測会) 実施のお知らせ

養田 則男
(S56政卒)

来る10月16日(日)18:30より学びの里にて守谷寺子屋行事の一環として秋の天体観測会を実施いたします。

本観測会は初回は昨年7月に実施。その時はほぼ全曇りの状況で、かろうじて土星くらいしか見えませんでした。が参加者の皆様には大好評を博したと記憶しています。

その後は2回計画するもコロナ禍で残念ながら中止になっていました。

今回は今の所コロナ禍も落ち着いているので、(天候次第ではありますが)秋の澄んだ星空の下、西に沈みゆく夏の大三角や秋の星座であるペガス座、アンドロメダ座等の星座観望の他、望遠鏡を使つての二重星、

アンドロメダ大星雲(M31)等の星雲、木星、土星等の惑星の観望などができるのを待っています。また今回、新たに市の予算で天体望遠鏡を購入したので、稲門会の皆様もこの機会にぜひご参加・ご協力いただけると思います。



土星



アンドロメダ大星雲(M31)